

## 【情報公開文】

### ●表題：

急性細菌性前立腺炎および急性精巣上体炎の治療状況調査と分離菌の薬剤感受性調査：後ろ向き多施設共同研究

### ●はじめに

男性の精巣や前立腺に細菌が感染し、精巣上体炎や前立腺炎が発症します。抗菌薬を投与して治療します。しかし、原因となる細菌の種類やその割合、抗菌薬の効き具合の詳細はわかっていません。そこで全国の施設で精巣上体炎や前立腺炎を発症し、治療を受けた患者さんの情報を集めて、その特徴を調べていきます。

### ● 研究対象

泌尿器科において2017年1月1日から2017年12月31日まで精巣上体炎、前立腺炎と診断され、治療を受けられた方を対象にしています。(当院30症例、全体で900症例を予定しています。)

### ● 研究内容、費用について

カルテの情報のみを検討に使用しますので、患者さんに通常診療以外の新たな負担も生じません。

### ● 利用する情報

年齢、性別、身長、体重、尿培養の結果、結果など

### ● 個人情報について

本研究では個人情報の漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データの数値化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取っています。本研究の実施過程及びその結果の公表(学会や論文等)の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

### ● 診療データを提供したくない場合の措置について

泌尿器科において2017年1月1日から2017年12月31日まで精巣上体炎、前立腺炎と診断され、治療を受けられた方のなかで、この研究に診療データを提供したくない方は、下記までご連絡下さい。

なお、あなたに関わる研究結果は破棄され、診療記録なども、それ以降は、研究目的に用いられることはありません。ただし、ご連絡をいただいた時点ですでに研究結果が論文などに公表されている場合や、研究データの解析が終了している場合には、解析結果などからあなたに関するデータを取り除くことができず、研究参加を取りやめることができなくなります。

### ● 研究期間

病院長承認日から2021年2月28日まで

### ● 医学上の貢献

研究成果により精巣上体炎や前立腺炎に原因となる細菌の種類や適切な抗菌薬の選択が可能となり、患者さんの治療と健康に貢献できます。

●共同で行う研究施設名

愛知医科大学、岡山大学、香川大学、鹿児島大学、金沢大学、  
川崎医科大学総合医療センター、北里大学、岐阜大学、大津赤十字病院  
群馬大学、北本矢澤クリニック、近森病院、神戸大学、国際医療福祉大学  
埼玉医科大学、産業医科大学、とちぎ子ども医療センター、順天堂大学  
昭和大学、筑波大学、帝京大学、東京医科大学、葛飾医療センター  
東京大学、獨協医科大学、大阪暁明館病院、兵庫医科大学、  
中国労災病院、福井大学、藤田保健衛生大学

●この研究の責任者

〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1  
産業医科大学医学部泌尿器科  
電話：093-691-7446 FAX：093-603-8724  
助教 松本 正広

●問い合わせ先

〒060-8543 北海道札幌市中央区南1条西16丁目  
札幌医科大学附属病院泌尿器科  
本院研究責任者 舂森 直哉 研究分担者 桧山 佳樹  
【平日 TEL(011)611-2111 内線 34720 (教室)  
休日・時間外 TEL (011)611-2111 内線 39390 (9階西病棟)】